

のり子の奥村の  
読者ニュース

2017年12月10日 第292号  
——奥村のり子生活相談所——  
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11  
☎ & FAX 073-427-7121  
Eメール wjcpken@naxnet.or.jp



戦没者追悼式で沖縄へ  
街の真ん中の普天間基地も

11月28日に沖縄県糸満市にて県出身沖縄並びに南方諸地域戦没者追悼式が行われ県議団で行って参りました。その際、普天間基地が一望できる嘉数高台公園に立寄り、その後沖縄県議団を表敬訪問しました。そこで、米軍基地の疑問をわかりやすく解説された「沖縄から伝えたい。米軍基地の話」という沖縄県が発行されたパンフレットをいただきました。以前ある自民党の議員が「基地のそばに人が住

緊張感ゼロの与党・補完勢力  
政府説明は「納得しない」が8割

10月の総選挙で圧勝した自民党なのに、特別国会でアベ首相は「逃げ」と「開き直り」で質問にまともに答えず。与党と補完勢力は政権を「よいしょ」するばかり。維新の議員は「総理、なんでこんなに選挙に強いですか」、自民議員は「別によいしょではない」と言いつつ「(首相の)地球儀俯瞰外交」を称賛するなど緊張感ゼロ。

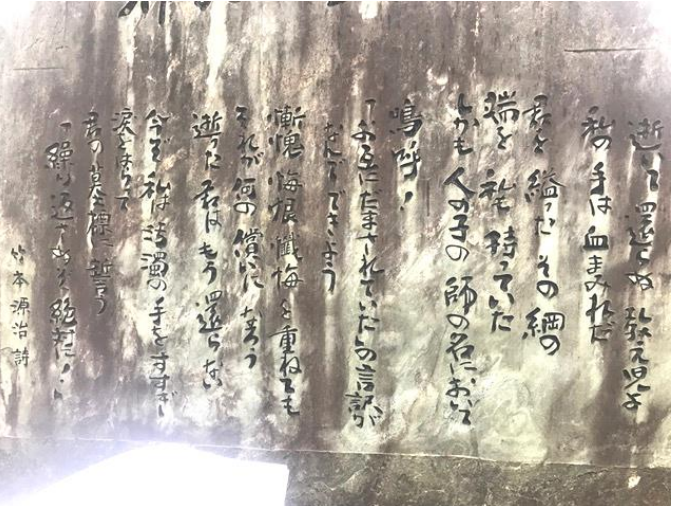
これに対して共産党の「もり・かけ」疑惑の論戦は大きな反響で「朝日」は1面トップで「森友ごみ協議・音声認める」、「東京」1面「政府、ごみ地下9メートル」。「毎日」は特集で「ごみ、口裏合わせか」と報道。テレビでもTBSや朝日などが大きく報じました。前回紹介の宮本岳志衆院議員に続き、辰巳孝太郎参院議員、加計問題で小池晃書記局長が抜群の質問を展開。「もり・かけ」問題の主役アベ首相は指名されても殆ど他人が答える様は余程この問題で恐れているようです。巷では「もり・かけ疑惑は彼の精神がほとんど壊れそうな心労」との声。4日のTBSはJNN世論調査で森友問題の政府説明は「納得できない」がナント81%、「できる」は10%でした。

- のり子の週刊日誌(主なもの)
- 12月8日 一般質問日、調査
  - 9日 和駅前街頭演説会、偲ぶ会、医療研究集会
  - 10日 会議、ウオーキングクラブ懇親会、支部総会
  - 11日 一般質問(奥村3番目) 河西無料生活相談
  - 12日 一般質問(雑質3番目)
  - 13日 一般質問日
  - 14日 常任委員会、懇親会

党市議会議員  
中村あさと



↓「逝った君はもう還らない」などの文字が見えます。



治安維持法への  
抵抗の歴史を学ぶ  
青年交流会に参加

み出した」と言ったことがありました。沖縄の歴史をもっと知るべきではないかと思いました。ひょっとして多くの国民が沖縄の歴史を正しく知る機会がないのでは?と思いましたが、地位協定の問題や基地と経済、辺野古新基地建設問題など皆さんに知っていただきたいと思えます。11日の一般質問(3番目)でも取り上げ、知事の見解を質します。ぜひ傍聴においで下さい。

来月28日告示の名護市長選で稲嶺市長が3選めざします。相手陣営は首相官邸あげて立ち向かってきています。声援を送りましょう。

(奥村のり子)

11月25・26日に高知市で開かれた第2回治安維持法犠牲者の戦いと抵抗の歴史に学ぶ青年交流会に参加しました。

初日は、自由民権記念館を観覧し、山添拓参院議員の基調報告がありその後、「中江兆民の先駆性」と題する講演がありました。2日目は史跡巡りをしました。

幕末から明治維新そして自由民権運動の発展など民主主義を求める運動があり、戦後、日本の憲法がアメリカに押しつけられたものではなく、国民が民主主義の確立する基盤を培ってきたのだと実感しました。

また、史跡巡りでは竹本源治さんの詩が刻まれた碑(写真)がとても印象的でした。竹本さんは、「神州不滅」と日本の勝利を信じていたほどの軍国主義者でした。碑の内容は、軍国主義に染まった自分が、教師の名で教え子を戦場に送った事について、どれだけ後悔しようとするとも償い切れないが、二度と同じ過ちは繰り返さない教え子の墓に誓うというものでした。



ビル群のすぐ向こうが普天間基地です。オスプレイらしきものが見える。



党沖縄県議団と一緒に